

☆教育の窓：学校現場に看護師を 配置進む大阪府

毎日新聞 2018年12月17日 東京朝刊

<https://mainichi.jp/articles/20181217/ddm/013/100/035000c>

＞ 学校で、たんの吸引や人工呼吸器の脱着といった日常的に医療的ケアを必要とする子ども（医療的ケア児）が増加している。医療技術の進歩などで学校に通える子どもが増えたことが背景にあり、国も教育の充実を図るため「学校看護師」の配置に向けた補助を拡充している。全ての子どもが共に学ぶ「インクルーシブ（包み込む）教育」が先進的で、支援学校や地域の小中学校に積極的な看護師の配置を進める大阪府の現場を取材した。

●ケア児寄り添い

大阪府立箕面支援学校（箕面市）には、約60人の医療的ケアが必要な子どもが在籍する。学校には常勤、非常勤合わせて11人の看護師がおり、その一人の宮下由美さん（52）は「子供たちは可愛い。教育現場だからこそ成長に寄り添えるし、やりがいがある」と話す。

宮下さんらは子どもたちが登校してくると、教員と打ち合わせ、教室を回り酸素濃度や脈拍などの体調をチェックする。医師の指示書を基に、たんの吸引などの医療的ケアも行う。それぞれの子どもの実情に合ったケアのため保護者の許可を得て、主治医に話を聞くこともある。2012年の改正社会福祉士及び介護福祉士法の施行で、認定を受けた教員も特定行為に限り、医療的ケアが行える。同校は支援体制が確保されつつあり、保護者が付き添わなくてもいいなど、負担軽減につながっている。

病院で看護師だった宮下さんは子育てのため一旦は退職した。子どもが小学校に通うようになり育児に余裕ができたことから、13年度から箕面市立の小学校で看護師として働き始め、現在は支援学校に勤務する。昨年からは常勤になった宮下さんは「夜勤がなく、子どもが登校しない夏休みなどもあるため、子育て中でも働きやすい」と労働環境面でのメリットも語る。

●保護者負担軽減

箕面支援学校に子どもが通う母親は「学校に行くことで、同年代の子と一緒に過ごせ、登校を楽しみにしている」と喜ぶ。早野真美校長（57）は「医療技術はどんどん進歩している。養護教諭や看護師と一緒に、一人一人に合わせた支援を行っていききたい」と話す。

大阪府教委によると、支援学校（07年以前の名称は養護学校）に看護師を配置し始めたのは03年度から。昨年度は政令市を除く府内の支援学校27校に90人の看護師が着任した。府は必要に応じた迅速な配置を目指し、非常勤看護師の登録を募っているが、登録数は多くない。突然退職した場合などの緊急時にも安定的に確保できるよう、登録者を増やしたいという。

●定着を模索

一般の小中学校に通いケアが必要な子どももいる。そうした子どものケアのため、府内の市町村の小中学校には昨年度、146人の看護師が配置された。府は市町村が看護師を配置できるよう06年度から補助を開始。今年度は初めて、市町村教委が雇用する看護師向けに、医療研修会も開催した。府教委は「やりがいや、仕事内容を広く知ってもらい、教員にも看護師との連携の大事さを理解してもらおうことで、定着を図りたい」と話す。

医療、教育の連携課題

文部科学省が2017年度に実施した全国調査によると、全国の公立特別支援学校には8218人、公立小中学校には858人の日常的に医療的ケアが必要な児童・生徒がいる。小中学校は12年度の調査開始以降、ほぼ同水準の傾向だが、支援学校は06年度の5901人から大幅に増加している。文科省は16年度から、公立特別支援学校に限っていた看護師の配置の補助事業について、公立小中学校も対象に加えた。1

9年度は前年度から300人増やし、1800人の配置を検討している。

医療的ケアに詳しい兵庫県立大看護学部の勝田仁美教授（小児看護学）は「学校看護師は地域医療のパイオニア的な存在だ。子どもに長い時間関わることで、充実感を感じる人もいる」と意義を指摘する。

一方で、現場の実情の違いに悩み、離職する人も多いという。勝田教授は「給与や常勤・非常勤などの待遇にばらつきがあり、雇用上の課題がある。質を担保するためにも、指導的な立場となる看護師をどう配置し、知識や技術だけではなく、医療と教育でどのように連携し支え合っていくかなどの研修を行うべきだ」と提言する。

…などと伝えていきます

学校で医療的ケアが必要な児童生徒数

特 ……公立特別支援学校
小中 ……公立小中学校

年度		児童生徒数	配置看護師数
2006	特	5901人	707人
	小中	—	—
13	特	7842	1354
	小中	813	—
15	特	8143	1566
	小中	839	350
17	特	8218	1807
	小中	858	553

※文部科学省の調査(2017年度)による



大阪府立箕面支援学校で

働く看護師の宮下由美さん（右）ら＝大阪府箕面市で

※関連で……

△大阪府立箕面支援学校

<https://www.osaka-c.ed.jp/minoo-y/>

△大阪府内の支援学校において、

看護師として勤務することを希望する方の登録の申込受付についての案内です。

大阪府教育庁教育振興室支援教育課 生徒支援グループ 2018年6月6日

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shienkyoiku/30kangoshiboshu/index.html>

△特別支援教育について 特別支援教育に関する調査の結果関連

文科省初等中等教育局特別支援教育課

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/1343889.htm

> H19年度～H29年度 特別支援学校等の医療的ケアに関する調査結果 あります

* 学校における医療的ケアの実施に関する検討会議資料

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1399827.htm

> 第7回：11/19、第6回：9/6、第5回：5/23、第4回：3/19

第3回：1/25、第2回：2017'12/26、第1回：2017'11/10 に開催されています。